

読響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

Sebastian Weigle

ドイツを代表する名匠
セバスティアン・ヴァイグレ (常任指揮者)

ヴェルディ: 歌劇「運命の力」序曲
メンデルスゾーン: ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64
ブラームス: 交響曲第1番 ハ短調 作品68

©読響

音楽と流れる幸せな時間

《歓喜のブラームス》

今だから、何度も聴いた名曲が心を打つ!

14, 15 June 2021

読売日本交響楽団 第2回 川崎マチネーシリーズ
2021年6月14日(月)14:00
ミューザ川崎シンフォニーホール
S¥6,000 A¥5,000

読売日本交響楽団 第643回 名曲シリーズ
2021年6月15日(火)19:00
サントリーホール
S¥7,600 A¥6,600 B¥5,600 C¥4,100

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時-18時・年中無休)
<https://yomikyoku.or.jp/>

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
助成: 文部科学省文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会
協力: ミューザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ) [6/14]

Arabella Steinbacher

世界的ヴァイオリニスト
アラベラ・美歩・シュタインバッハー
(ヴァイオリン)

ドイツの名匠ヴァイグレによる 《歓喜のブラームス》 シュタインバッハーが奏でる ストラディヴァリの艶やかな音色

読響と厚い信頼関係を築く常任指揮者ヴァイグレが、満を持して6月公演に登場。パイロイト音楽祭やウィーン国立歌劇場など世界の檜舞台上で活躍する名匠が、渾身の指揮でロマン派音楽の名曲を披露する。

前半は、ヴェルディの歌劇「運命の力」序曲で幕を開ける。金管楽器の3つの音で印象的に始まる音楽は、抗い難い運命の物語と呼应するように、ドラマティックに展開する。名だたる歌劇場のオペラ指揮者として腕を振るうヴァイグレの実力が存分に発揮されるだろう。

2曲目は、メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲。哀愁を帯びた冒頭のメロディや、華やかに展開するヴァイオリンの技巧など聴きどころが多く、数あるメンデルスゾーンの作品のなかでも、屈指の人気を誇る名作だ。ソリストは、ドイツの実力派ヴァイオリニストのシュタインバッハー。世界の一流オーケストラと共演を重ねている彼女は、ストラディヴァリウスの艶やかな音色を披露し、流麗な旋律を奏でるだろう。ヴァイオリンの多彩な響きとオーケストラの掛け合いに注目したい。

後半は、メインとなるブラームスの交響曲第1番。ブラームスが構想から20年以上もの歳月を費やして完成した最初の交響曲であり、不朽の名作として世界中で愛されている。悲痛に満ちた冒頭から、情熱や慰み、人間味あふれるさまざまな楽想が姿を現す。終楽章では、苦悩を乗り越えた輝かしい歓喜のフィナーレが鳴り響き、会場を熱狂へと誘う。ドイツ音楽を得意とするヴァイグレのタクトは、温かく豊潤なサウンドを読響から引き出し、感動のクライマックスを築き上げるだろう。オーケストラの醍醐味がつまった傑作をたっぷりとお楽しみいただきたい。



セバスティアン・ヴァイグレ
(常任指揮者)

2019年4月から読響第10代常任指揮者を務めるドイツの名匠。ベルリン生まれ。1982年からベルリン国立歌劇場管の首席ホルン奏者として活躍後、指揮者に転身。2003年にフランクフルト歌劇場でR.シュトラウス(影のない女)を振り、雑誌『オーパンヴェルト』の「年間最優秀指揮者」に選ばれた。04年から09年までバルセロナのリセウ大劇場の音楽総監督を務め、08年からフランクフルト歌劇場音楽総監督の任にある。同歌劇場は『オーパンヴェルト』の「年間最優秀オーケストラ」や「年間最優秀歌劇場」に輝くなど、その手腕は高く評価されている。パイロイト音楽祭、ザルツブルク音楽祭、ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ベルリン放送響、ウィーン響などで活躍している。

©読響



アラベラ・美歩・シュタインバッハー
(ヴァイオリン)

世界の一流楽団と共演を重ね、国際舞台上で活躍する第一線のヴァイオリニスト。2004年、パリで急病のチョン・キョンファの代役として、マリナー指揮フランス放送フィルと共演し、大成功を収めたのをきっかけに世界へと羽ばたいた。これまでに、マゼール、メータ、ドホナーニ、K.マズア、シャイー、プロムシュテット、ゲルギエフらの指揮で、バイエルン放送響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ミュンヘン・フィル、ロンドン響、パリ管、シカゴ響、ニューヨーク・フィルなどと共演している。録音は、ペンタトーン・クラシックスと専属契約を結び数々のCDをリリースし、数多くの賞を受賞している。使用楽器は、日本音楽財団貸与のストラディヴァリウス「ブース」(1716年製)。

©Sammy Hart

読響日本交響楽団 第2回 川崎マチネーシリーズ

2021年6月14日(月) 14時開演

ミューザ川崎シンフォニーホール
S ¥6,000 / A ¥5,000

●JR「川崎」駅より徒歩約3分 ●京浜急行「京急川崎」駅より徒歩約8分

神奈川県川崎市幸区大宮町1310
Tel. 044-520-0100

読響日本交響楽団 第643回 名曲シリーズ

2021年6月15日(火) 19時開演

サントリーホール 東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001
S ¥7,600 / A ¥6,600 / B ¥5,600 / C ¥4,100

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

■学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。
■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。 ■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。
■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。 ■マスク着用など、読響の「感染予防対策」にご協力をお願いします。

読響チケットセンター 0570-00-4390
*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>
*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド チケットぴあ 0570-02-9999 ミューザ川崎シンフォニーホール 044-520-0200(14日) サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017(15日)